

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年4月)	英語能力を備え、国際的にアピールする人材の育成を掲げた本博士後期課程の教育目標を達成するためには教員組織の一層の充実が必要であるため、教員の教育研究活動に対し積極的な支援を行うこと。	留意事項	<p>本学では、教員の研究支援を積極的に行う上で、各教員が多様な教育研究活動を行うことのできる時間の確保に努めている。学位取得に対する支援はその一環であり、その結果、博士後期課程担当教員の全てが博士の学位を取得しているのはもとより、保健医療学研究科の基礎となる学部における教員の約75%が博士の学位を取得している。開学初年度の取得率が42.4%である事を鑑みると、32.6%アップした事になり、現在博士の学位を取得していない教員においても、本年度採用した助教1名を除き、全ての教員が博士課程在学中である。これは、教員が多様な研究活動を実施する上で、博士の学位を取得する過程を経て、より専門性を高め、質の高い研究を行い、その結果を研究教授で育つ人材を育成する事が必要と考えたからである。</p> <p>また、昨年度に海外の大学等との国際交流を含めた研究活動を今後より活発に行い、教育研究の質の向上に寄与する事を目的とした国際交流センターを設けており、このような大学の機関を活用しつつ、今後も更なる教員の教育研究活動の支援に努める。 (27)</p>
設 置 時 (平成27年4月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	<p>上記に述べた通り、本学は開学以来、教員の人材育成を積極的に行っているが、大学院教育の質という事を考慮すると、1、2年で解決することは難しいものの、若手教員の育成に努め、世代間に渡った教育手法を伝承しつつ、教員の年齢構成を改善できるよう、今後も継続して進めていく。 (27)</p>

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。